

CARD

Publication number: JP2000168874

Publication date: 2000-06-20

Inventor: BAN ICHIRO

Applicant: BAN PR KK

Classification:

- international: **B42D15/02; B65D85/57; B42D15/02; B65D85/57;**
(IPC1-7): B65D85/57; B42D15/02

- european:

Application number: JP19980351390 19981210

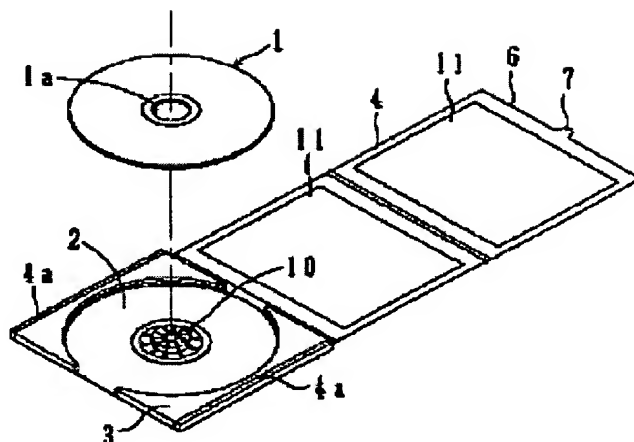
Priority number(s): JP19980351390 19981210

Report a data error here

Abstract of JP2000168874

PROBLEM TO BE SOLVED: To use the back face of a closing sheet more widely for utilizing the same for printing and the like, and also to use suitably as a CD case, etc., after opening as to a card for mailing, etc., which is closed by adhering a closing sheet on both faces of a base fitting and holding a memory disk.

SOLUTION: A closing sheet 4 is formed continuously having the width of a base 3 and roughly the length of the periphery of the base 3. The closing sheet 4 winds around the base 3, and both side parts 4a of the closing sheet 4 are adhered to the base 3. A break part 5 is formed in a line shape along the inner side of both side parts 4a of the sheet 4. This card is opened with the sheet 4 continued over both faces of the base 3.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-168874

(P2000-168874A)

(43) 公開日 平成12年6月20日 (2000.6.20)

(51) Int.Cl.⁷

識別記号

F I

テーマコード (参考)

B 6 5 D 85/57

B 6 5 D 85/57

E

2 C 0 0 J

B 4 2 D 15/02

5 0 1

B 4 2 D 15/02

5 0 1 C

3 E 0 3 6

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号

特願平10-351390

(22) 出願日

平成10年12月10日 (1998.12.10)

(71) 出願人 594023818

伴ピーアール株式会社

大阪府大阪市北区南森町2丁目2番2号

(72) 発明者 伴 一郎

大阪市北区南森町2丁目2番2号 南森町

千代田ビル9階 伴ピーアール株式会社内

(74) 代理人 100083172

弁理士 福井 豊明

Fターム (参考) 2C005 WA15

3E036 AA08 BA01 DA10 EA10 FA01

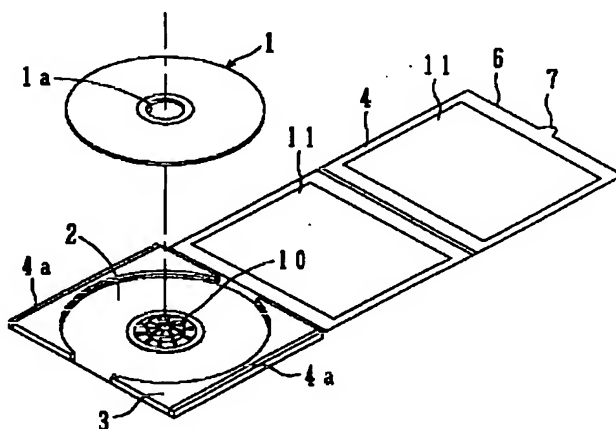
FA05 FB01 FB10

(54) 【発明の名称】 カード

(57) 【要約】

【課題】 記憶ディスクを嵌合保持する基板の両面に封止シートを貼着して封止した郵送等用のカードにおいて、封止シートの裏面をより広く使用できるようにして印刷等に活用するとともに、開封後もCD等ケースとして好適に使用する。

【解決手段】 上記封止シート4を上記基板3の幅を有して基板3のほぼ周長にわたり連続するよう形成し、この封止シート4で上記基板3を巻回するとともに、上記封止シート4の両側部4aを上記基板3に貼着し、かつこの封止シート4の両側部4aの内側に沿い線状に破断部5を形成せしめて、上記封止シート4が上記基板3の両面にわたり連続した状態で開封されるようにしたことを特徴としている。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 記憶ディスクを嵌合させる凹部を有する基板の両面に封止シートを貼着して封止するカードにおいて、上記封止シートを上記基板の幅を有しかつ基板のほぼ周長にわたり連続するよう形成し、この封止シートで上記基板を巻回するとともに、上記封止シートの両側部を上記基板に貼着し、かつこの封止シートの両側部の内側に沿い線状に破断部を形成せしめて、上記封止シートが上記基板の両面にわたり連続した状態で開封されるようにしたことを特徴とするカード。

【請求項2】 上記封止シートの開封側先端部に係止用凸部を形成するとともに、封止シートの基端部にこの係止用凸部が差し込まれるスリット部を形成した請求項1記載のカード。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明はコンパクトディスクやミニディスク等の円盤状の記憶媒体を低コストで郵送できるカードに関するものである。

【0002】

【従来の技術】近年、例えば楽曲を記録した直径8cm程度のミニディスクあるいはコンパクトディスクと呼ばれる記憶ディスク（以下CD等という）が種々のジャケットに封入され、更にビニール袋などに封入して販売されている。

【0003】このジャケットを利用してCD等を郵送する場合には、ビニール袋に代えてCD等を入れたジャケットを封筒に封入したり、ビニール袋ごとジャケットを封筒に封入したりしている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記ジャケットを更に封筒に入れて郵送する場合には、CDを入れたジャケットを更に封筒に入れる手間と時間が必要な上、葉書形式に比べて封書形式は郵送料金が高いために、コストデメリットが生じる。

【0005】そこで、本願発明の出願人は、特開平9-71067号公報により、上記CD等をポストカードの形式で郵送しうるカードを提案している。

【0006】このカードは、CD等を嵌合させる凹部を有する基板の両面に封止シートを貼着して封止した構成を有し、開封時は上記凹部側の封止シートをめくるように開いて中のCD等を取り出すようになっている。

【0007】本発明はかかるCD用カードをさらに発展させ、封止シートの裏面をより広く使用できるようにして印刷等に活用するとともに、開封後もCD等ケースとして好適に使用しうるCD用カードを提供することを目的とするものである。

【0008】

【課題を解決するための手段】本発明は上記目的を達成するために以下の手段を採用している。

【0009】すなわち、本発明は、図1に示すように記憶ディスク1を嵌合させる凹部2を有する基板3の両面に封止シート4を貼着して封止するカードを基本として、上記封止シート4を上記基板3の幅を有し、かつ基板3のほぼ周長にわたり連続するよう形成し、この封止シート4で上記基板3を巻回するとともに、上記封止シート4の両側部4aを上記基板3に貼着し、かつこの封止シート4の両側部4aの内側に沿い線状に破断部5を形成せしめて、上記封止シート4が上記基板3の両面にわたり連続した状態で開封されるようにしたことを特徴とするものである。

【0010】上記本発明のカードにおいては、開封時に封止シート4が基板3のほぼ周長にわたって連続した状態で開かれることから、この開かれた広い封止シート4の裏面をメッセージや説明書き等の印刷部として有効に活用することが可能である。

【0011】また、上記本発明のカードにおいて、上記封止シート4の開封側先端部6に係止用凸部7を形成するとともに、封止シート4の基端部8にこの係止用凸部7が差し込まれるスリット部9を形成して、開封後も上記封止シート4の開閉を容易に行えるようにすることも好適である。

【0012】

【発明の実施の形態】以下さらに添付図面を参照して、本発明の実施形態を詳細に説明する。

【0013】図1は本発明実施形態のCD用カードを示す斜視図、図2は同実施形態を展開した状態を示す平面図、図3は同、背面図、図4は同実施形態の開封前の状態を示す平面図、図5は同実施形態を開封後に閉じた状態を示す平面図である。

【0014】上記実施形態のカードは、図1等に示すように、CD1を嵌合させる凹部2を有する基板3の両面に封止シート4を貼着して封止するようになっている。

【0015】上記基板3は、所定厚みを有するプラスチックの一体成形物からなり、上記嵌合用凹部2の中心にCD1のスピンドル孔1aに係合して保持する係止部10を備えている。この基板3の裏面は、上記係止部10を除いて平らに形成されており、この裏面に添着される封止シート4上に宛て名12等を書きやすいようになっている。

【0016】一方、上記封止シート4は、上記基板3の幅を有し、かつ基板3の周長より少し長めにわたって連続するよう形成されている。この例ではこの封止シート4をやや厚手の紙によって形成しているが、フィルム状のものやその他のシート状のものも使用しうる。

【0017】そして、図4に示すように、この封止シート4で上記基板3を巻回するとともに、上記封止シート4の両側部4aを上記基板3に接着剤により貼着し、かつこの封止シート4の両側部4aの内側に沿い線状に破断部5を形成せしめて、図1～図3に示すように、上記

封止シート4が上記基板3の両面にわたり連続した状態で開封されるようにしている。

【0018】なお、この実施形態では、上記封止シート4は、その両側部4a以外に上記基端部8も前記基板3に貼着されている。また、上記破断部5はミシン目等からなり、図4に示す状態からその裏面まで形成されている。

【0019】他方、上記実施形態のカードにおいては、上記封止シート4の開封側先端部6に係止用凸部7を形成するとともに、封止シート4の基端部8にこの係止用凸部7が差し込まれるスリット部9を形成して、図5に示すように開封後も上記封止シート4の開閉を容易に行えるようにしている。上記係止用凸部7は、開封後は上記のようにスリット部9に差し込まれてカードの封を行うが、図4に示す開封時にはつまみ用のタブともなる。

【0020】しかして、上記本発明実施形態のカードにおいては、図1、図2に示すように、開封時に封止シート4が基板3のほぼ周長にわたって連続した状態で開かれることから、この開かれた広い封止シート4の裏面をメッセージや説明書き等の印刷部11として有効に活用することが可能である。

【0021】

【発明の効果】以上説明したように、本発明のカードは、CD用基板に貼着する封止シートを上記基板の幅を有して基板のほぼ周長にわたり連続するシートにより形成し、この封止シートで上記基板を巻回するとともに、上記封止シートの両側部を上記基板に貼着し、かつこの封止シートの両側部の内側に沿い線状に破断部5を形成せしめて、上記封止シート4が上記基板3の両面にわたり連続した状態で開封されるようにしたものであり、開封時に封止シートが基板のほぼ周長にわたって連続した状態で開かれることから、この開かれた広い封止シートの裏面をメッセージや説明書き等の印刷部として有効に活用することが可能である。

【0022】そして、上記封止シートの開封側先端部に係止用凸部を形成するとともに、封止シートの基端部にこの係止用凸部が差し込まれるスリット部を形成して、開封後も上記封止シートの開閉を容易に行えるようにし、上記カードをCD等の保存用としても用いることも可能である。

【0023】また、本発明のカードは、ポストカードとして記憶ディスクを郵送できるので、郵送料金を安く押さえることができ、特に大量に記憶ディスクを郵送する時のコストメリットが大きくなる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明実施形態のCD用カードを示す斜視図である。

【図2】同実施形態を展開した状態を示す平面図である。

【図3】同、背面図である。

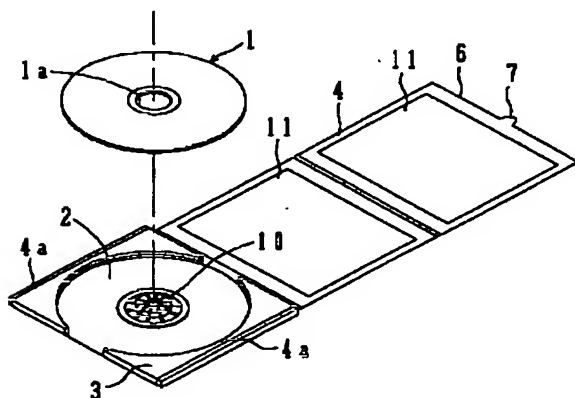
【図4】同実施形態の開封前の状態を示す平面図である。

【図5】同実施形態を開封後に閉じた状態を示す平面図である。

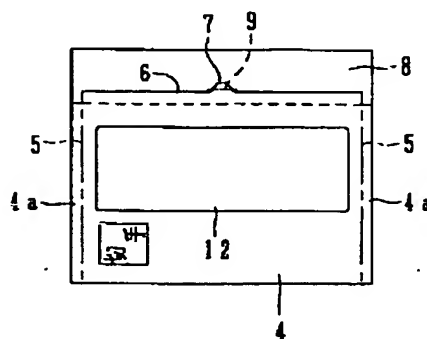
【符号の説明】

- 1 記憶ディスク
- 2 嵌合用凹部
- 3 基板
- 4 封止シート
- 4a 封止シート両側部
- 5 破断部
- 6 開封側先端部
- 7 係止用凸部
- 8 封止シート基端部
- 9 スリット部
- 10 係止部
- 11 印刷部
- 12 宛て名

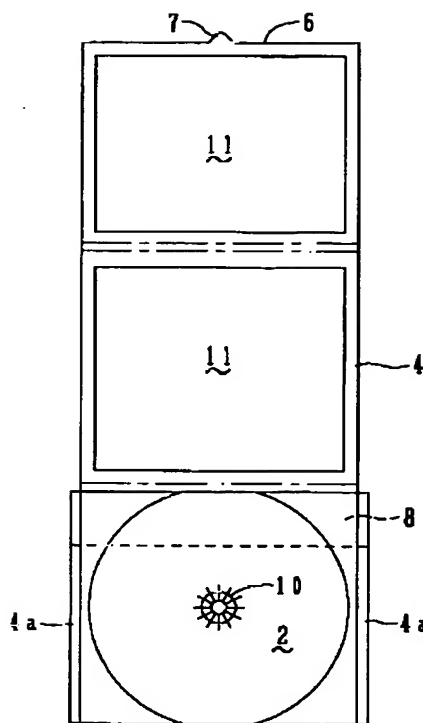
【図1】



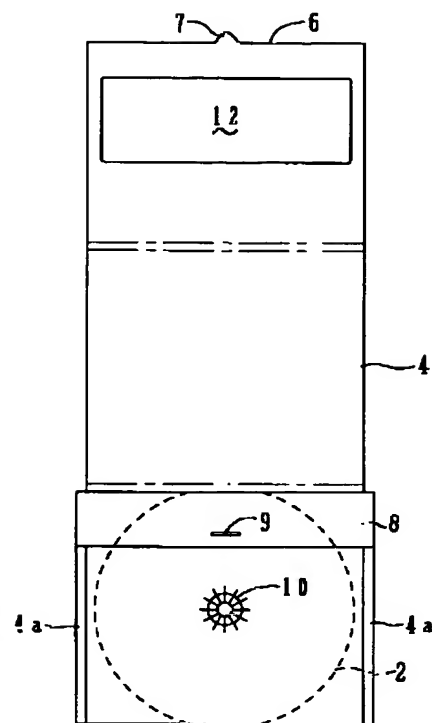
【図4】



【図2】



【図3】



【図5】

